



# かたくり



熱心に耳を傾けておられました



毛布と棒を利用した  
応急担架作成法



積極的に質問される参加者

## 馬見原自治振興区自主防災組織 研修会開催！



救命処置  
(心肺蘇生法)

消火器の使い方



挨拶をされる  
井手自治振興区会長



多くの皆さんが参加されました！

2月25日、馬見原自治振興区自主防災組織研修会が開催されました。昨年の11月に組織を立ち上げ今回が初めての研修。まずは組織についての講話、消火器の使い方、心肺蘇生法等について説明がありました。その後、山都町社協より熊本地震時の状況や地域の見守りについて説明を行いました。参加者の皆さんは説明に熱心に耳を傾け、積極的に質疑をされていました。今回の研修会を通して、自助、共助の重要性について理解を深められたのではないかと思います。今後は、防災マップの作成等にも取り組みたいとの声が聞かれました。



熱心に聞かれる参加者の皆さん



大分大学  
衣笠一茂教授



事業報告を行う  
山村蘇陽支部長

1月25日、熊本県立劇場で『平成30年度地域福祉推進フォーラム』が開催され、社協評議員、30地区福祉会長19名が参加されました。  
基調講演では、大分大学福祉健康科学部の衣笠一茂教授が「地域共生社会の構築に向けて」の演題で講演をされました。  
午後からのトークセッションでは、宮城県石巻市の石巻じちれんと宮崎県日之影町社協から活動の紹介があり、地域でより暮らしやすく過ごすためには、住民の主体的なつながりと関わりが必要である事について協議をされました。最後に「くまもと暮らし安心システム推進モデル事業」の実績報告があり、山都町社協から山村哲也蘇陽支部長が報告を行いました。  
帰りのバスの中では、「地域の方の思いを聞いて活動に活かしたい」、「自分の地域は自分で守る」という気持ちが大事」といった心強い感想を頂きました。

地域福祉推進フォーラム  
共に支え合う地域づくりを目指して

2月22日、ボランティア協力校情報交換会を開催し、山都町内の小中高校9校の先生方が参加されました。  
熊本県ボランティアセンター所長の藤本武司氏より、「福祉教育における学校と社協の連携について」をテーマに講演いただきました。その後、意見交換を行い、各学校での取り組みについてそれぞれご紹介いただきました。様々な活動に取り組んでおられる事を共有しました。また、学校教育における地域との連携について、地域の社会（人材）資源の活用について等活発な意見交換、貴重な御意見をいただく事が出来、大変有意義な時間となりました。



熊本県ボランティアセンター  
所長 藤本武司氏



各学校での取り組みについて  
ご紹介いただきました

ボランティア協力校情報交換会

日本赤十字社会費（社資）納入のお願い

2019年度も5月から赤十字会員運動が始まります。山都町では6月に区長・組長・世話係の皆様を通して運動を実施して参ります。会費は1世帯500円です。皆様のご理解とご協力をお願い致します。

2018年度実績  
4,755件  
2,386,401円



お寄せ頂いた会費は全額を日本赤十字社熊本県支部へ送金し、赤十字社の様々な活動に役立てられています。

～掲示板～

2018年度赤い羽根共同募金実績報告

10月1日～12月31日にかけて赤い羽根共同募金運動を展開しました。住民の皆様のご理解と御協力のもと心温まるたくさんの募金をいただきました。お寄せ頂いた募金は全額を熊本県共同募金会に送金し約7割が山都町の地域福祉活動のために使われます。ご協力ありがとうございました。（2019年2月末現在）



蘇陽中学校生徒会より

募金種類	件数	金額
個別	4,563	2,071,050
法人	20	150,000
学校	8	44,122
職域	8	105,382
個人	2	8,847
その他	33	286,211
合計	4,634	2,665,612



## 平成30年度 第2回山都町内社会福祉法人連絡会

1月22日、熊本地震被災者を支援する山都町地域支え合いセンター連携会議と山都町内の社会福祉法人連絡会を合同で行ないました。初めに町内の被災再建状況報告と2つの法人から活動事例を発表していただきました。それを踏まえて講師より、「社会福祉法人による地域における公益的な取り組み」について要点を抑えながら、県内外の事例を交えて話していただきました。ポイントとしては、地域課題とのマッチングというところで、地域のニーズを把握し、それに対してどういう取り組みが可能かを考える事が重要ということでした。参加者からは、熊本地震からの復興についてや現在の取り組みから生まれる疑問や悩みなどを発言いただき、地域共生社会の実現にむけて、社団法人、行政、地域住民、そして様々な地域資源が一体となって取り組むことの必要性を共有されていました。今後もこのような連絡会を継続したいと思います。



講師及びコーディネーターを務めていただいた  
**川口 和博氏**  
(熊本県社協地域福祉課長)

## ～通所介護事業所(デイサービス)紹介～



馬見原パワースの皆さん



**ケアセンターやまと(清和)**  
1月22日～24日の3日間、利用者が毎年楽しみにされている新年会を行いました。昼食にはごちそうの行事食と余興では、地域のボランティアの方々の協力もあり歌に踊りにと、大変盛り上がりしました。また、スタッフの踊り、利用者様のカラオケもあり楽しい新年会となりました。



**ケアセンターそよかせ(蘇陽)**  
2月19～20日、園内ショッピングを行いました。スーパームツい蘇陽店様、篠田商事様にご協力いただき、テーブルには沢山の商品が並びました。利用者の皆さんは様々な商品を手に取り、思い思いに購入されました。



どれが  
よかろか？

## 退職者紹介



居宅介護支援事業所  
介護支援専門員  
小熊 英子

合併前の旧蘇陽町時代から数えると実に19年間、私の公務員人生の半分は社会福祉協議会で過ごしたことになります。歴代会長様始め職員の皆様、また各関係団体の皆様、そして地域住民の皆様方に支えられ任期を全うすることができました。今後も皆様方と様々な場面でお会いする事があると思います。その節はご指導ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。退職の挨拶といたします。ありがとうございました。



事務局長  
菊池 剣之

平成7年、社会福祉協議会へ入職し、訪問介護事業所、居宅介護支援事業所で勤務させて頂き、色々な経験と多くの事を学び、私自身大きく成長する事ができました。これまで、地域の方々、職員の皆様の温かいご支援、ご協力があり、無事に定年退職を迎える事で感謝申し上げます。ありがとうございました。

今後も、再雇用で社協の業務にあたりますのでよろしくお願いいたします。



## もつる会で モテる♡ かい？！

下矢部東部地区万坂公民館では、毎月第4日曜日に約10名が集まって体や頭の体操や健康講座、お茶のみをされています。会の名前は「人にモテる・長く保てる(続く)」という意味が込められています。『全てプラス思考、くよくよしないで楽しく暮らす』をモットーに参加者全員に発言してもらいます。1ヶ月の振り返りでは、テレビや旅行や孫の話など、普段の何気ない出来事が楽しい・嬉しいとプラスの方へ導かれます。『制度に合わせず、自分達が思うように楽しめるならばそれが一番!』と話してくださる声掛け人の本田松代さん、本田幸子さんの言葉がこの会を集約しているように思いました。



ひとつひとつ丁寧に作り上げられます☆

## 私たちの 楽しみです♡ ～ひまわり会～

柏地区のひまわり会では平成27年より、年に3回程、お玉玉作りに取り組んでおられます。小学校のイベントでの昔遊びをきっかけに、28年からは道の駅での販売、また、小学校・保育所からの依頼を受け作製提供されています。お玉玉の布はそれぞれ持ち寄り、売り上げで購入されており、中身の数珠玉はメンバーの一人が自宅で植えているものを使用されているとの事。その売り上げでお茶菓子を購入し、お茶飲みをするのが楽しみとの声。時には日用品を購入される事もあります。「少しでも自分で収入が得られる事が嬉しい」という言葉や、口を揃えて「楽しいです」という言葉とともに笑顔が見られた事がとても印象的でした。



みんな揃って  
パチリ★  
自然と笑顔がこぼれます☆☆

## 行き帰りは シルバーカーで。 急な坂道を上手に 運転されます。



実際に店頭に並んでいる商品



縫い物はお手の物!

## 地域の様子

メンバーは増えて現在7名で活動中。地元の敬老会や神社の例大祭、福祉祭りや福祉施設の慰問など各イベントで披露され、見ている人も一緒に大変喜ばれています。今後喜ばれることを励みにメンバーの皆さんはテレビからオフアークくるまで続けよう(笑)と話されています。

ダンスのオフアークメンバーに  
入りたい方は高橋さんまで!!



息の合ったダンスで会場を魅了

鶴底地区の同級生を中心とした男性ダンスグループ「おやじコムラード(仲間)」を紹介します。平成28年11月に地区の敬老会&収穫祭を盛り上げようと、同級生3人(チームT3)で踊られたのが結成のきっかけです。「地元の人が舞台上立つと見ている高齢者の方は笑顔になります。気が合う仲間で楽しみながらやっています。」とリーダーの高橋稔朗さんは話されます。



会場の皆さんと一緒にY・M・C・A♪

気の合う仲間と楽しみながら  
「おやじコムラード」